

【中学校 国語】

令和7年度版教科書に対応の『学習指導書』に誤りがありました。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。
恐れ入りますが、ご指導の際にはご配慮いただきますよう、お願いいたします。

『中学校国語 学習指導書(上・下)』					
学年	上・下	頁	行	原文	訂正文
1	上	344	下段 10	2 <u>次の漢字に共通する音を答えよう。</u>	2 <u>①～③の指示に基づき、Bを書き改めよう。</u>
2	下	409	下段 22	ましまし候ぞ 「ましまし」は「 <u>ます</u> 」(「 <u>在り</u> 」の尊敬語)の連用形に助動詞「 <u>ます</u> 」の連用形が付いたもの。現代語訳では「いらっしゃる」。尊敬の意を表す。	ましまし候ぞ 「ましまし」は「 <u>あり</u> 」「 <u>をり</u> 」の尊敬語「 <u>まします</u> 」の連用形。現代語訳では「いらっしゃる」。尊敬の意を表す。
		410	上段 19	討たれぬ 「討つ」に受け身の助動詞「 <u>れる</u> 」の連用形と完了の助動詞「ぬ」が付いたもの。「ぬ」を打ち消しの意味で誤読することがあるので注意が必要。	討たれぬ 「討つ」に受け身の助動詞「 <u>る</u> 」の連用形と完了の助動詞「ぬ」が付いたもの。「ぬ」を打ち消しの意味で誤読することがあるので注意が必要。
		410	下段 12	頸をぞかいてんげる 「かいてんげる」は、「かく」の連用形に「てんげり」(連語「てけり」の音変化)の <u>已然形</u> が付いたもの。「……てしまった」の意。係り結びの「ぞ」があることから、文末は連体形となる。意味は「首をかき切ってしまったのだった。」となる。	頸をぞかいてんげる 「かいてんげる」は、「かく」の連用形に「てんげり」(連語「てけり」の音変化)の <u>連体形</u> が付いたもの。「……てしまった」の意。係り結びの「ぞ」があることから、文末は連体形となる。意味は「首をかき切ってしまったのだった。」となる。